

…すようなごどで

デイビッド・マナーリオ
(指導主事助手・29歳)



1991年の夏。僕は13歳であった。そのとき家族はまだアパートに住んでいた。野外にバスケットとテニスのコートがあり、いつも遊んでいた。

普段は大人の人たちとバスケットをしていた。それは大学生、軍人、お年寄り、全くできない人、人種差別主義者の人などもあった。彼らは僕が子どもであることを気にしない。僕が全力でやるかやらないかだけは気になる。誰も僕のことを気の毒に思っていない。大人とバスケットをやりたいなら一生懸命せざるを得ない。

アメリカではそういう考え方をするけれど、日本では違うと分かってきた。例えばある中学校でサッカーをしたときのことである。僕は全力でプレイをしたが試合の後に先生に注意された。なぜかという、子ども相手に大人げないと言われた。それは日本なりの考え方だと受け止めた。

13歳の夏

大学生たちは偉い人だといつも自分で思っていた。彼らはたまに麻薬を使ったりアルコールを飲んだりしながらバスケをやる。軍人は運動量が多いからガードするのに苦労した。お年寄りは運動するだけで楽しかったがたまにはビールを飲みながらもやる。全くできない人たちはルールも知らないでアメリカンフットボールと混ぜてプレイしたので、よくけがをした覚えがある。人種差別主義の人たちにどうしても勝ちたい気分であった。

世界の見方は大人になるにつれて少しずつ変わってくる。13歳の僕は世の中に2種類の人間がいると単純に思った。そうなりたい人となりたくない人。あの麻薬を使っている大学生たちようにはなりたくなかった。あるグループに認められるため、なぜ健康を壊してまで付き合わなければならないのか。人種差別主義の人々を見ると自分は「無知になりたくない」。もっと人間らしくなるような教育を受けたいと思った。

あの夏は、今でも印象的に記憶に残っている。

この文章は、デイビッドさんが日本語で書いています。

今年も やります！

くずまき 高原



昨年のツアーで山ぶどうの木の剪定をする参加者

募集 参加者

第4回「くずまき高原満喫ツアー」を開催します。葛巻の“食”と“自然”に触れるツアーにあなたもぜひ参加してみませんか。

- ① 7月7日(土) 山ぶどうの木の剪定
- ② 10月7日(日) 収穫とジュース作り

【参加費】

1回につき1,000円
山ぶどうの木の借上料1,500円(別途)

【申し込み期限】

6月22日(金)

定員になり次第締め切ります。

【問い合わせ先】

くずまき高原グリーン・ツーリズム推進協議会事務局(町農林環境エネルギー課(役場内線144))



あれれっ！
なんだこりゃー

石割桜もびっくり。新町の真藤子政雄さん(74歳)の敷地でアスファルトを突き破ってチューリップが咲きちゃいました。なんと強い生命力。

満喫ツアー

くずまき高原グリーン・ツーリズム推進協議会

農村の魅力を伝えたい

協議会では、「くずまき高原満喫ツアー」のほか、昨年度グリーンツーリズム大賞を受賞した畜産開発公社をはじめ町の観光協会、森林組合など多くの会員などが積極的に体験等を受け入れています。

農業や自然体験、地区の人たちとのふれあいを通じて農村の持つ限りない魅力を知ってもらうとともに、生きる力や命の大切さについて体験を通して教えています。

体験メニューと会員募集

協議会では、農業・自然体験メニューを募集しています。遊休農地を活用した農業体験、山や川で遊ぶ自然体験など葛巻の食と自然に触れられる体験であれば何でも構いません。皆さんがすでに取り組んでいるもの、新たにこんな体験があれば良いと思うものを教えて下さい。

また、一緒に活動してくれる方々を募集します。葛巻には他に無いたくさんの自然や文化があります。都会の人や子どもたちとのふれあいを通じて、一緒に葛巻をPRしましょう。

お問い合わせは、くずまき高原グリーン・ツーリズム推進協議会事務局まで。

漆真下孝幸さんに

黄綬褒章



平成十九年春の褒章で、漆真下孝幸さん(五十三歳・大沢)がこの道一筋の黄綬褒章を受章しました。岩手県内で三人の受賞のうちの一。公益に尽くした藍綬褒章を含めた受賞者七人の中で最も若い受賞となりました。

酪農一筋33年

お二人で出席。山本拓農林水産副大臣から伝達された後、皇居「豊明殿」で天皇陛下に拝謁しました。漆真下さんは、昭和四十七年に県立盛岡農業高等学校卒業後二年間、北海道で研修を積んで家業の酪農業に従事。就農当時は二十五頭の牛も現在は九十頭規模に。県内外の数々のホルスタイン共進会に出品し、岩手県畜産共進会経産牛の部で三回

の名誉賞を受賞すると同時に農林水産大臣賞も。全国ホルスタイン共進会にも五回出場で七頭出品して優等賞を二回獲得するなど活躍を続けています。「長く続けただけでは酪農の町を築き上げてくれた先輩諸氏に替わってわたしがいただいたものであり、この恩返しは後進へ」と、謙虚な中にも今後への意欲もろそかせませんでした。

税源移譲

この六月から町民税が変わる。所得税はすでに一月に改正済み。その概要は国税の所得税が下がり、地方税の住民税が上がるのだが、一人当たりの国税・地方税を合わせた負担は同じという設計だ。

なぜ税が変わるかということ、地方分権を進めるための三位一体改革。地方財政の自由度を高めるため、地方の主体的な地域づくりのために、国の補助金を四兆円削り、地方に三兆円の税を移す「税源移譲」を行ったためだ。

ひとり町の



葛巻町でも町民税が四千万円ほど増収になる計算だ。良いことのように見えるが、裏を返すと税を徴収できなければ、その分町の収入が減ることになるのだ。そして「自らの町は自らの税で」という度合いが増して、町の責任が重くなり税がますます重要になるということだ。町民の皆さんのご協力を切に望みたい。